

マッチング事例3(副産物の有価売却・再資源化)

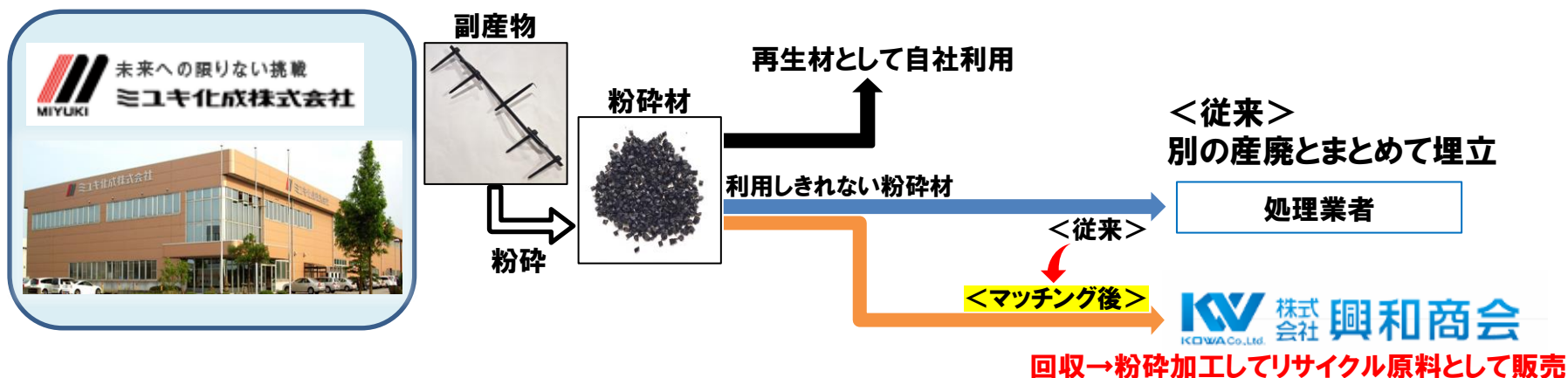


ミユキ化成株式会社(排出事業者) ⇄ 株式会社興和商会(リサイクラー)

○再資源化を検討することになったきっかけ

- ・成形時に発生する副産物(ランナー・ガラス繊維15%含有ナイロン樹脂)を粉砕し、自社で再生材として利用しているが、利用しきれず残ってしまう。

→埋立処分していた産廃の再資源化の検討、有価での買取業者の探索



<マッチング後>

利用しきれず埋立処分していた
粉碎材を売却・再資源化

<効果>

廃棄物処理費の削減

○今後の予定

- ・パージダンゴや規格外品等の粉碎材以外の産廃についても再資源化を進める